

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立西小学校

1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

- ・国語では、前半の設問の無解答率が低く、学習課題に対して意欲的に取り組もうとする姿勢が見られます。後半の設問では無解答率が高くなり、時間配分に課題が見られました。
- ・国語の「話すこと」・「聞くこと」に関する設問については概ね良好な結果でしたが、「書くこと」・「読むこと」に課題が見られました。
- ・算数では、全般的に無解答率が低く、特に「測定」「変化と関係」「データの活用」の領域で成果が見られました。「数と計算」「図形」の領域では課題が見られました。
- ・児童質問紙からは、国語や英語の学習に関して「勉強が好き」「授業の内容がわかる」などの肯定的回答率が高く、主体的に学ぼうとする意欲が感じられます。

2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語	<ul style="list-style-type: none">・資料を用いた目的を理解したり、目的や意図に応じて資料を使って話したりできています。・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する設問では、成果が見られました。	<ul style="list-style-type: none">・問題を読みとって自分の考えをまとめて書くことに課題が見られました。・条件に合わせて書く記述式の設問に課題が見られました。・漢字や主語と述語の関係を捉えるなど、基礎学力に課題が見られました。
算数	<ul style="list-style-type: none">・全般的に無解答率は低く、意欲的に取り組むことができています。・二つの道のりの差を求めたり、道のりと時間との関係を考察したりすることができています。・データ活用、グラフ、表の読み取りに関する設問では成果が見られました。	<ul style="list-style-type: none">・計算の見直しが不十分であり、計算ミスに気付いていないようです。・三角形の面積の公式が定着できていないところも見られます。・三角形の見方を変えた応用問題に対応できていないようです。・小数を用いた説明を解釈し、記述で答える設問に課題が見られました。

3. 成果と課題を踏まえた今後の取組みの方向性について

国語

- ・授業の最初に語句の確認を行います。
- ・授業時間に自分の考えをノートに書く、条件や文字数に合わせてふりかえりを書くなどの取組みを積極的に行います。
- ・この学習で何ができればよいのかを子どもたちに示すルーブリック（子どもの学習到達状況を評価するための評価基準表）を活用します。
- ・文章から必要な言葉を選別するなど、文章の読み取りを意識した学習をすすめます。
- ・子どもどうして意見を交わす機会を増やし、異なる意見に耳を傾けたり共感したりする力をつけます。
- ・漢字の反復練習を朝学や宿題、自主学習などを通して意識的に行います。

算数

- ・朝学の時間などを使って計算力をつけます。
- ・図形の学習では応用問題などを意識的に取りあげます。
- ・文から読み取った内容を絵や図に表し（イメージすること）、立式したり説明したりする学習をすすめます。
- ・計算などの見直しをしっかりと行う習慣をつけます。

4. 学力向上に関する現在の取組みと今後の改善について

【基礎学力向上】

① 掲示物

教室掲示物7（西小あたり前6か条、話し方、聞き方、声の大きさ、えんぴつの持ち方1～3年、姿勢、ふりかえり）を各教室の前面に掲示し、学習活動で必要に応じて活用します。

② 繰り上がりや繰り下がりのたし算・ひき算など、「算数科指導法」を統一します。

③ 「家庭学習の手引き」を学年でそろえて配付し、家庭学習の充実を呼びかけます。

④ 自主学習ノートを学年で統一して指導し、掲示します。（1年生は後期より）

⑤ 朝学の取組み（月）（水）（金）

8：30～8：45の時間に朝の学習を推進する。

月・・・視写 水・・・漢字音読 前学年の漢字

金・・・計算 木・・・朝読書 火・・・朝礼・わくわく（縦割り交流）

【地域人材の活用】



1年生の生活科では、地域の方を講師に招いて、昔遊び体験をしています。



家庭科で調理やミシンの実習の時にサポートをしています。



学生ボランティアを活用し、低学年の児童にサポートをしています。

【読書習慣の取り組み】



読書ノートを活用



図書委員会のおすすめ紹介



毎月、図書館からの読み聞かせ

【ICTの活用】

今回の結果では、無解答率が高く、特に記述式や短答式の設問で課題が見られました。そこで、朝学の時間を中心にタブレットドリルを活用し、漢字や計算等をはじめ、理科、社会、英語の言語活動を充実させ、基礎学力を高めていきます。

そして、一人ひとりが自身の課題を把握し、個人の習熟度に応じた学習に取り組めるように、タブレットドリルを活用していきます。

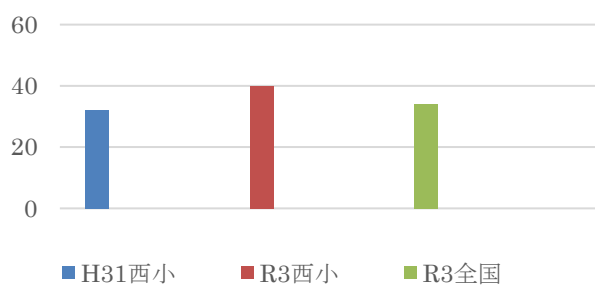
高学年になって、使い方がわかるようになり、休み時間にタブレットドリルをしたり、英語の課題を調べたりしている様子が見られます。また、友だちと教え合いながら活用しています。



5. 児童質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について〉

授業時間以外に1日30分以上の読書をする。

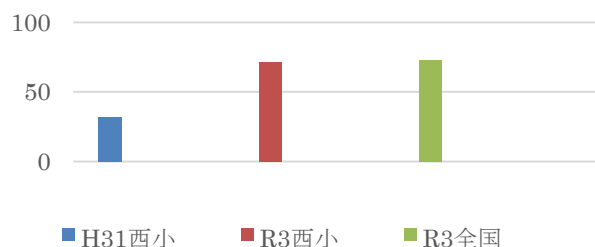


読書「授業時間以外の1日の読書量」の項目について、30分以上と回答した児童が、H31年度は32%であったが、今年度は、40%となり、改善に向けての取組みの成果が見られました。

毎月、大阪狭山市立図書館の方に来ていただき読み聞かせをしてもらっています。

また、PTAからも学級文庫の寄贈をいただいたことで読書に親しむ児童が増えました。

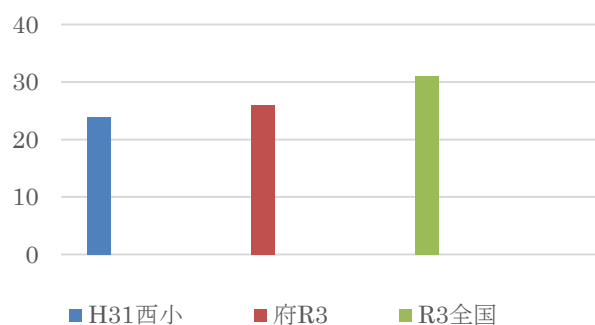
総合的な学習



「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の項目が、H31年度と比べて2倍のポイントに上がりました。地域の川の美化活動や、SDGsへの取組みで、児童が主体的に活動できるようになりました。

〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

家で自分で計画を立てて勉強していますか。



「家で自分で計画を立てて勉強をよくしていますか」の項目について、全国が31%、大阪府が26%、西小学校が24%という結果で、家庭での学習時間については、全国平均をやや下回っています。宿題のほかに、家庭で主体的に自学自習する指導を保護者と連携しながら継続して取り組んでいきます。また、ホームページには、家庭学習教材を掲載しています。

タブレットドリルなどを活用して、自分の苦手なことに挑戦したり、興味のあることを調べたりして、計画的な自主学習に取り組んでください。

6. 保護者・児童のみなさんへ

児童のみなさんへ

西小学校のみなさんは、学習課題に対してとても意欲的に取り組むことができている、落ち着いて授業に取り組んでいます。新しい問題や難しい問題に出会っても前向きにチャレンジしていくところが、みなさんの素晴らしいところです。どんなことでも、自分でやると決めたことはとことんやりとげる力があります。失敗することがあっても、立ち上がる強さがみなさんにはあると信じています。困っている人に気遣う優しい心と、失敗しても立ち上がる力を発揮して、誰よりも自分のことを信じ、毎日自分のことをほめていきましょう。

保護者のみなさまへ

西小学校の子どもたちは、毎朝の登校でたくさんの地域の方に見守られています。地域社会で子どもたちを育てていただいています。地域の方の日ごろの姿を目にすることで、子どもたちの心が豊かに育まれています。児童質問アンケートでは、「人の役に立ちたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」という思いが強くあらわれており、正義感が感じられます。

ご家庭でも、子どもの声に耳を傾けてかかわっていただいているように思われます。子どもたちは、自分で決めたことを最後までやりきる力があります。

ありのままの子どもを受け入れてあげて、ともに支えていきましょう。